

月刊

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザインは、横浜市内の資源回収業者の組合(135業者が加盟)による、市民と組合員にリサイクルの情報・回収の実情を伝えるための情報誌です



もったもった

リサイクル社会へ



松の内もあけたばかりで、景気の低迷だとか大雪が続いたとか色々あって、仕事が終わった後の時間を少々持て余し気味の今日この頃。原稿を書こうと思いがら、久しぶりにドラマを見ました。それは監察医が主人公のドラマで、サスペンス物が好きな私は見るともなしに見ていたのですが、死体が捨てられていた池の近くが産業廃棄物の不法投棄場所になっていて、そこから漏れだした薬品の化学反応によって死亡推定時刻が変化するという場面でした。昔からその手のドラマの舞台は、車の解体屋のヤードや採石場なんかが多くて、「不法投棄」場所が脚光を浴びるのを見るのは初めてで、ましてやそこに捨てられていた薬品が事件に関係してくるなんて、最近の環境保護運動の高まりを反

映しているようで新鮮でした。

さて現実にはスイスイと解決できない問題が山積みで、これからは我々リサイクルのプロとしての立場から考えることも必要になってくると思います。

何を売る時でも、「環境にやさしい」が謳い文句になっていて、各メーカーは競って省エネやリサイクル可能率の高い製品を売りだしています。しかし今の日本のように、洗濯機・冷蔵庫・エアコン・自動車などを持っていない家庭がほとんどない中でそのような物を売りたいとしても、「買い替え」によって大量の廃棄物が生まれ、その処分やリサイクルに大量のコストとエネルギーが消費され、それが新製品のおかげで「省エネ」された分を大きく上回るのは火を見るより

明らかです。

本当に「地球にやさしい企業」を目指すのなら、技術革新などによるモデルチェンジのサイクルを、製品の耐用年数に合わせて長くし、製品の販売価格に最初から修理やリサイクルのコストを上乗せし、大事にモノを使った人が得をするようにすべきです。

いま何か、リサイクル＝環境保護という図式が一般化しているようですが、本来は次元の違う問題のような気がします。地球環境の保護は、自然に対してなるべく手を加えるべきではないという考えから出発しているわけですから、突き詰めれば、石油を採ることも、鉄を採ることも、否定されてしまいうわけで、生活や文化のレベルを下げる結果につながり兼ねません。その点リサイクルは、資源を大事に未永く利用し、それによって本来の意味での豊かな生活を目指すこと。リサイクルを中心に据えた資源循環型社会が、適度な環境保護も同時に実現していくと思います。

景気が良くない今だからこそ、こうしたことを冷静に考えられる時期なのではないでしょうか。私も含めてみんな考え、行動していきたいですね。(エアバック)

もっと知りたい！身近なゴミのこと③

海外で必要とされている 日本の布製品や古着

中野 聰 恭

■必要とされている布製品

気候の暖かい西アジア・東南アジアの国々でも、エルニーニョなどの影響で寒波が襲うことがありますが、寒さになっていないためか、六度程度でも亡くなってしまうことがあるそうです。医薬品や住環境、食べ物や衛生状態などの影響もあるでしょうが、とりあえず寒さをしのぐ衣料があれば、死に至る可能性が減るのです。

そういう場所では、毛布や穴の開いていない左右がそろった靴下を必要としています。日本では洗濯機で靴下を洗うため、穴があく前にゴムが伸びてしまい、その靴下は家庭ゴミと一緒にビニール袋につめて捨ててしまうことが多いと思います。けれどもその靴下をアジアの国々に輸出すれば、伸びたゴムを豊富な天然ゴムで補修して使うことができるのです。必要なのは丈夫な靴下です。

風邪をひいて鼻をかむとき、日本ではティッシュペーパーを使いますが、でも現地では、日本の戦後と同じように紙が貴重品。だから何回も繰り返し使えるハンカチが必要とされています。日本のハンカ

チは縫製がよく、プリントがきれいです。特に子ども用のハンカチは、豊富なキャラクターがそろっているので大変人気があります。

■古着市場の世界化

近代化が進むのに比例して、自国の伝統的な民族衣装を捨てて、洋服を着る傾向が強まっています。宗教的な信条から決められた服装をつけているような場合を除くと、豊かになるほど洋装化が進み、貧しいほど民族衣装を残していると言えるかもしれません。

衣料の同一化が進み、世界の民族が同じものを着るようになることは、衣料品のリユースマーケットが世界的なものになるということとです。しかし、衣料品は身を守ったり飾ったりする機能を持つだけではなく、民族独特の慣習を表わす場でもあるのです。例えば、ヒンドゥー教徒は灰色を忌み、イスラム教徒の女性は人前で肌身をさらしません。古着を海外に送る場合には、こうした点への配慮も必要です。単一民族の鈍さか、島国故の国際性の欠如か、「相手に必要なもの」を送るのではなく、「自分

分にとって良いものは、当然相手にとっても良いもの」という気持ちで、買った時高価だったので捨てるに捨てられずタンスの肥やしになっているような衣料を送っている場合をよく見かけます。善意からの行動でも、相手の心情を配慮しないと、善意とは受け取られないのです。

■衣料品に文化を

わが国における古繊維のリサイクルは、前回ふれた三つの用途(①再生原料(ヘリソース)・②再利用材(ヘリメイク)・③再使用品(ヘリユース))に合わせた行われていきます。リサイクル率は残念ながら低くて、10%以下になっています。

欧米でのリサイクルはリユースが中心で、30〜35%程度と言われています。ヨーロッパはヨーロッパ内、国々とアフリカ・中近東向けに、アメリカは国内と南米・アフリカ・中東に向けて輸出しています。ヨーロッパはその域内に、アメリカは国内に、それぞれリユースのマーケットを抱えています。日本国内には古着のリユースマーケットはほとんどないとい

つていい状態です。

「この違いは経済的な原因によるものではない」と、私は思っています。かつて日本が和服の時代だった頃には、古着のマーケットが存在していたのですから。たぶん洋服が日本の伝統的な服装ではなく、欧米の民族衣装だからではないでしょうか。伝統的な民族衣装には、時代年代を越えた文化が存在します。それは世代が交代しても脈々と受け継がれているので、親が着ていたものを子どもが着ても、おじいさんのものを孫が着ても、さしたる不自然さは感じられないはずです。私も父が着ていた和服を着ています。

明治以来の洋装化は、一世紀が経過しても、未だに日本人の文化になり得ないということなのか、日本が洋装を導入するにあたって文化的なポリシーが欠けていたのか、第二の皮膚である衣料品に文化のない日本という国はどういう国なのかとよく考えます。

まもなく二十一世紀を迎えます。二千年に及ぶわが国の歴史の中でも、物が余って困ったという時代はここ二十年ほどの異常な出来事



ということができると思います。年間八千億以上の莫大な税金を使って焼却処分されている日本の古着は、日本では必要とされないものかもしれないが、古着を必要としている国々にとっては、まだまだいのちのある貴重な資源なのです。

最後にもう一度、確認しましょう。買った時には安くても、肌身に近い衣料品ほどリサイクルしやすく、肌身から離れるほど買う時は高くリサイクルしにくい傾向があります。

あなたは商品につけられていた値段だけを、価値の基準、リサイクルの基準にしていますか？国際化・グローバル化と言いますが、日本人の感覚だけで判断していませんか？

古繊維は古着だけではありません。使い古しのシャツ・タオル・カーテン・毛布なども貴重なリサイクル資源です。ぜひ捨てずにリサイクルしていただきたいと思います。

(筆者は横浜市資源リサイクル事業協同組合理事長)

ダイエットソーダが 毒に変わる

―アリス・アイランド・ジャーナルより―

アメリカの環境保護雑誌アリス・アイランド・ジャーナル1997年秋号が、アメリカの小学6年生、ジェニファー・コーエンちゃんの行った化学の実験レポートを掲載している。日本でもダイエットソーダなどに使われている甘味料の安全性に関する実験だ。今月は趣向を変えて、このレポートの要約をRD読者の皆さんにご紹介しよう。

●アスパルテームってなに？

アスパルテームは、1965年に開発された人工甘味料で、ダイエットソーダ、ローカロリー・ヨーグルト、ガムなど、こどもの食べるものにも含まれている。

アスパルテームの成分は、アスパルテイク酸、フェニルアラニン、そしてメチルアルコールである。メチルアルコールは高温で分解し、ホルムアルデヒドとジケトペパラジン(DKP)になる。どちらの化学物質も、神経系に害を及ぼすものとして知られている。

アメリカでは、アスパルテームは1億人以上に消費されている。アスパルテームを摂取したときの症状は、アルツハイマーなどの症状に似ている。頭

痛、めまい、視覚障害、脳溢血、ガンなどを起こすことで知られてきた。

全米ソフトドリンク協会(NSDA)は、アスパルテームを清涼飲料に使用することを承認しないよう勧告している。

●実験方法

1997年1月21日、ジェニファーちゃんはスーパーマーケットでダイエットソーダを1ケース買った。そのうち7缶を冷蔵庫に入れ、7缶を自分の部屋に、7缶を40℃にセットした孵卵機の中に入れた。それから10週間毎日、温度をチェックした。

残った3缶を、ニュージャージーのウインストン研究所に持っていった。その研究所で調べてもらった結果、1缶に0.06%のアスパルテームが含まれていることがわかった。

4月1日、ソーダの缶を冷蔵庫、自分の部屋、孵卵機からそれぞれ持ち出し、分析のためにウインストン研究所に持っていった。

●味テスト

目隠しテストを行った結果、新しく買ったダイエットソーダの味が、一番評判が良かった。孵卵機のスコアは非常に低く、ほとんど全員がこの味を嫌った。ダイエットソーダの中のアスパルテームがホルムアルデヒドとDKPに変わったからだ。

	アスパルテームの残留量	DKP	ホルムアルデヒド
冷蔵庫	0.058 %	0.001 %	53.5ppb
自分の部屋	0.051 %	0.002 %	231.0ppb
孵卵器	0.026 %	0.010 %	76.2ppb

ウインストン研究所の報告は、右の表のような結果だった。保存温度が高いほど、DKPの濃度は高かった。室温が最もホルムアルデヒドを生成するようだった。高温では、ホルムアルデヒドは分解してしまうのだ。しかし冷蔵されれば、アスパルテームはホルムアルデヒドに変わる。

アスパルテームに関して、アメリカ食品医薬品局(FDA)は「われわれが入っているデータから、これは安全な製品だと確信している」と言う。安全かどうかは、自分で判断するしかないようだ。

たかはし・ゆき
横浜・ゴミを考える連絡会事務局長
「環境教育の現場から」は隔月連載です

●コピー用紙 (新聞古紙100%の再生紙)

平成10年1月現在

サイズ	入数	規格	1・2ケース	3・4ケース	5~9ケース
A4	2500枚	白 (白色度 70 %)	2,080円	1,980円	1,910円
		ピンク・イエロー・グリーン	3,660円	3,480円	3,120円
		白 (白色度 70 %)	3,180円	3,160円	2,780円
B4	2500枚	ピンク・イエロー・グリーン	5,000円	4,800円	4,680円
		サーモン・パープル・ブルー			
B5	5000枚	白 (白色度 70 %)	3,180円	3,140円	2,760円
A3	1500枚	白 (白色度 70 %)	2,570円	2,540円	2,230円

●コンピュータ用紙

入数	規格	5~9ケース
2000枚	白 (白色度 60 %)	2,900円

◎注文は

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045-316-4050 FAX 045-316-6050

*この他の再生紙については、右記までお問い合わせください。

ガス代がグリーンと節約できる「省エネ保温調理」が静かに広がりつつあります。最近話題になった《バスタオル保温調理》は、煮物や煮魚料理の際、弱火で煮続ける代わりに、沸騰後1〜5分経過するだけで、タオル（または新聞紙など）で鍋をすっぽりくるんで20〜30分保温すれば、弱火で煮続けるよりもずっとおいしく仕上がる、というものです。

この方法は、昨年12月に魚柄仁之助氏がマスコミで紹介してくださってから、多くの人が実践するようになりました。

我が友人は、タオルで鍋をくるんだ後、これをひなたに移動させて、更に効率の良い《バスタオル&ひなた保温調理》を、かいたいしく実践しています。

ところで省エネ保温調理の原理は、小林寛氏考案の《はかせなべ》によるものです。省エネ保温調理は、こたつの熱を効率良く閉じ込めるために、厚手の布団をこたつにかけるやり方に似ていますが、小林氏はこの

方法が単に省エネであるだけでなく、弱火でコトコト煮る従来の方法よりおいしく調理できるということを科学的に証明なさっています。

「煮汁の味は温度が下がって行く時に材料の方へし

地球をまもる家事と工作

第23回 省エネ保温調理 5つの方法

島 秀子

エコサイクル家事研究家



さんの友人・知人が、「省エネ保温調理の方が美味しい！」と言っています。

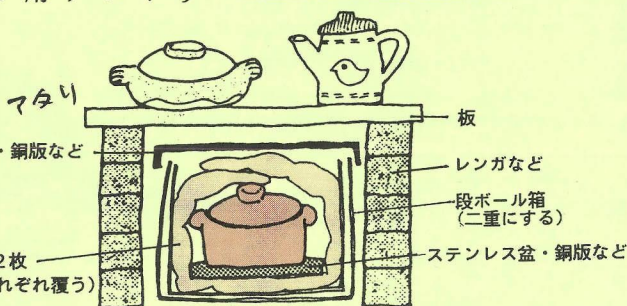
私は小林氏考案の、はかせなべをヒントに、タオルのかわりに土鍋などを利用する《土鍋保温調理》をしてきたのですが、最近では

「保温調理」をなさってみてください。おいしい上に、ガス代がグリーンと減ること間違いなし、です。

*1 沸騰時間は、ニンジンや煮魚などの柔らかいもので1〜2分、その他煮えにくい素材でも最高5分ほどでよい

*2 著書に『台所リストラ術』『生活リストラ術』（農文協）ほか

*3 著書に『お鍋にスカートをかけておいしさ大発見』（光文社）『カッパホームズ』ほか



〈デッドスペースを生かした省エネ保温調理箱〉

再生紙を使ってみませんか！

私たちの資源回収で生まれた〈新聞古紙・上質古紙〉を含んだ再生紙です。地球環境を保護することにこだわり、環境汚染をなくすよう配慮して作りました。再生紙を使うメリットは、省エネルギー・ゴミ減量・森林保護に役立ち、しかも経済的なこと。私たちの願いは、地球の未来のために住みやすい環境を作ることです。

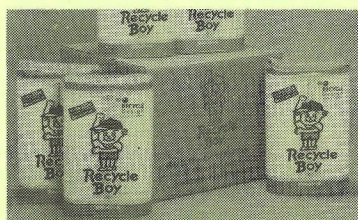
●リサイクルボーイ トイレットペーパー（上質古紙100%の再生紙）

さわったお尻は忘れない

サイズ	1ケースの入数	規格	10ケース以下	11ケース以上
シングル(芯なし)	(1ケース8パック/1パック6ロール) 48個	130m	1ケース3,360円	1ケース3,000円

*上記価格は、1回のご注文につき1ケースあたり(各種・各サイズ込み)の価格です。消費税が別途かかります。

*配送は、受注後2〜3日以内(土・日は除く)。送料は無料です。10ケース以上のご注文については、別途ご相談ください。



昨年3月、ヨーロッパのリサイクル事情を見学してきました。ヨーロッパと日本の一番の違いは、国がリサイクルに対し法律で後押ししていること、そして国民もリサイクルについて十分理解していることです。参加者は、紙の専門業者から産廃業者までと様々だったので、びんやゴミのリサイクル会社・一般市民が持ち込めるリサイクルステーション・鉄や非鉄金属のスクラップ会社と、いろいろ見学してきました。今回はフライブルグ市のゴミ処理をご紹介します。

フライブルグ市は、ドイツの南西部にあり、スイスにはわずか40分ほどのところに位置しています。この町は人口約20万人で、森と山に囲まれ水に恵まれた、美しい大学町です。市では環境に優しいゴミ行政の実現にむけて、ゴミの減少対策や再利用政策を導入するなど、今後もさまざまな計画案があるようです。また、住民もゴミに対して高い意識を持って協力しています。

その一つがゴミカレンダーです。市と市営の管理会社で発行し、市民に無料配布しています。カレンダーにはゴミの収集日だけではなく、何のゴミをどの容器に入ればいいのか、また特殊な有害廃棄物（薬物・毒物・塗料など）・粗大ゴミはどのように処理したらいいのかなども紹介

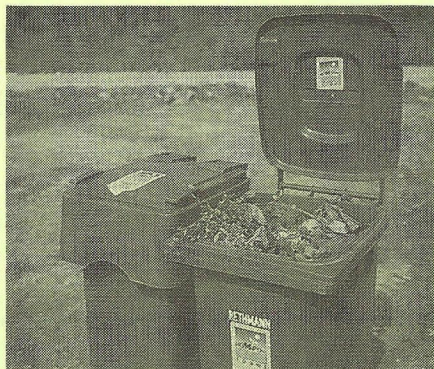
されています。フライブルグ市では、ゴミを減らすことを第一目標とし、いかにリサイクル率を上げるかという政策のもと、市民に3種類の家庭用ゴミ分別容器を配布しています。

この他に、電池や靴・古着・自転車のタイヤなども回収しています。そのためにゴミの管理会社は、市内に2カ所の「リサイクリングホフ」と呼ばれる収集施設を設け、上記のもの（生ゴミを除く）や、電化製品、家具、薬物、アルミ、庭木なども扱っています。また、特殊有害廃棄物の回収のために、年3回、回収車が回ります。

ゴミカレンダーには、はがきが付いています。そのはがきを使って、粗大ゴミの回収を依頼することができます。現地の日本人ガイドさんの話では、回収に出す際に容器の中に間違えてゴミが入っていたりすると、ふたの上にそのままゴミが残っていると。きちんと分別しないと回収してもらえない徹底ぶりです。

さらに、ゴミを出さないキャンペーンなどを行っています。ゴミカレンダーでは、子どもむけに絵入りでゴミ処理の紹介しています。また、学校や幼稚園と連携し、子どもの環境教育のプログラムの作成や、指導も行っています。

フライブルグ市のやり方を、私たちも見習いたいものですね。（竹澤留美）



堆肥化可能なゴミを入れるための茶色のコンテナ

※参考資料 ハーレンベルグ現代辞典1996

この数字
ななんだ？

3万7千件



日本の川では、洪水が起きるとコンクリートで護岸工事をするとという作業が繰り返されてきたため、コンクリートで岸を固めた川が多くなっています。自然のままの河川には生態系ができ、循環が行われています。その生態系は長い年月にわたる川の営みが作り上げたものでした。しかしコンクリートで固め、力まかせに川の水を抑え込もうとすることで、自然の生態系が失われて循環が行われなくなった結果、生物が減ったり自然による浄化作用が行われなくなっただけでなく、土砂の堆積といった問題も起きています。これまで大半の自治体では、検討を重ねることなく護岸工事をコンクリートで行ってきましたが、先日建設省は、「被災した河川の復旧は原則的にコンクリート使用を禁止」という通達を出しました。遅過ぎるという印象はありますが、ここ5年間に年間3万7千件の工事が行われ、2900億円が投入されてきたというのですから、一日でも早く通達が出されることに意味があると言えるでしょう。木や石を主体にして工事をすると、コストを3〜7%削減できるという副産物もあるそうです。

古紙一筋に四十四年。

ズダ袋やリヤカーも、今は懐かしく。

長谷川さんは昭和29年に高校を卒業後、(株)國光に入社しました。

(株)國光は戦後から50年も古紙を扱っている老舗の古紙問屋で、長谷川さんは入社してまず、東京の本社事業所で古紙の仕分けを徹底的に学びました。当時は古紙の量も今と違って少なく、オフィス古紙もズダ袋で回収してき

て、それを作業台の上に広げて、新聞・雑誌・込新(MIXペーパー)・白新(くしゃくしゃの新聞)……というように、30種類ほどに仕分けしていたそうです。

昭和35年、川崎事業所開設。翌36年12月、西区浅間町に横浜事業所開設。そして長谷川さんは横浜事業所の所長になりました。当時の横浜駅周辺

には今のような賑わいはなく、西口に高島屋が開業しようとする時期でした。車も一般には普及していなくて、古紙の回収もリヤカー全盛の時代。そこで各地にある建場(回収人にリヤカーを貸して古紙などを集めている業者)まで、トラックで古紙を取りに行っていました。そのころの神奈川は、今のように古紙問屋が多くはなかったの

で、古紙などを集めている業者まで、トラックで古紙を取りに行っていました。そのころの神奈川は、今のように古紙問屋が多くはなかったの

で、古紙などを集めている業者まで、トラックで古紙を取りに行っていました。そのころの神奈川は、今のように古紙問屋が多くはなかったの

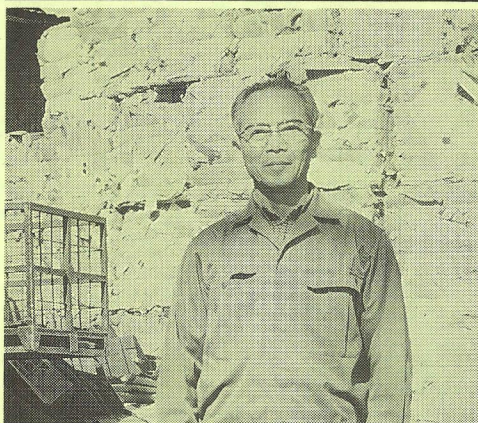
で、古紙などを集めている業者まで、トラックで古紙を取りに行っていました。そのころの神奈川は、今のように古紙問屋が多くはなかったの

で、古紙などを集めている業者まで、トラックで古紙を取りに行っていました。そのころの神奈川は、今のように古紙問屋が多くはなかったの

で、古紙などを集めている業者まで、トラックで古紙を取りに行っていました。そのころの神奈川は、今のように古紙問屋が多くはなかったの

で、古紙などを集めている業者まで、トラックで古紙を取りに行っていました。そのころの神奈川は、今のように古紙問屋が多くはなかったの

組合員紹介 NO.15



株式会社 國光 長谷川 博高さん

横浜市西区浅間町4-331-1

〒220-0072 ☎045・311・7131

■取扱品目:紙類

「横浜にきた37年前の年の暮れは、横浜事業所のオープンと長男の誕生が重なって、本当に大変だったな。でも、業者の人たちとよく一緒に飲みに出かけたりして、楽しかったよ。なにせ私も若かったし、みんな自分の

父親くらい年が離れていたから」と当時を懐かしむ長谷川さん。
そんな長谷川さんの趣味は、車で山道を走り回ること。あるとき山梨と長野の県境の峠道を走っていたら、突然大きなカモシカが崖から飛び降りてきて、危うくぶつかるところだった、というエピソードもあるそうです。
最後に市民の皆さんにお願いです。
「國光のモットーは良い品を製紙会社に提供すること。新聞の中に封筒やティッシュの箱などが入っていたら、取り除かなければなりません。人手で行う作業なので、古紙が大量に集まる問屋では相当な作業量になります。どうか、家庭でこうした物を混ぜないようお願いします」。
(株)國光は現在、東京・神奈川を中心に、6事業所で古紙を取り扱っているほか、静岡県富士市で、製紙メーカー向けに古紙パルプの製品販売も行っています。
(ぼ)

おたより

●リサイクルをなめらかに、面白い形で行うための、民間と行政の役割分担、消費者の参加できる部分をくわしく知りたい。どうしても無理やり行政が割り込むことで、今までのリサイクルの流れが逆に断ち切れてしまったり、値段が大きく変わってしまったりするようなので、そこを三者がどう協力し合っている方向に持っていけるかというところを、一番現場をわかっている方々の率直なサジェスチョンという形で聞きたい。また、古紙や古布など、リサイクルする際にも、実際に洗浄や漂白・輸送・人手・電気など様々なコストや環境負荷がかかると思いますが、その辺りをもっと知りたい。
横浜市港南区/餌取友子さん

●官公庁・財団等のパンフや講演会のお知らせのチラシ、広報で告知しているのだから、それ程枚数が必要なのか? 期日の過ぎた紙はどうなるのか? 再生紙だから使い放題、ではないだろう。

私は裏が白紙のパンフは、子どものお絵描き用にもらって使っています。パンフの枚数や種類が多いのは、京都の会議でも指摘されていましたが、リサイクルされることばかりではなく、根本的にものをふやさない事が第一じゃないかと思っています。
匿名希望

リサイクル 標準価格表

平成10年1月現在

品名	買入価格*	業者の売値 1/29日経新聞より
新聞	1kg - 1~0円**	1kg 3~4円
雑誌	1kg - 5~-2円**	1kg 0~-5円
段ボール	1kg - 3円**	1kg 3円
衣類くず	1kg - 1~0円**	1kg 4~5円
アルミ缶	1kg 10~20円***	

* 集団回収には「買入価格」が適用されます

** 有償となります

*** スチール缶などと選別してある場合の価格です

★ この価格は500kg以上集団回収する団体のみに適用されます
また取引条件により、多少の変化があります★ 事業所から発生したものは、集団回収の対象になりません
事業所ごとに、業者と直接ご相談ください★ 集団回収以外の段ボールの回収には、1回3,000円以上の
手数料がかかります

★ 段ボールは必ず束ねて出してください

オフィス古紙
共同回収


'97.12
参加企業12社
12,820kg

回収地域は横浜駅西口・
新横浜の2か所アルミ缶
店頭回収

'97.12
市内スーパー等
102店舗
43,140kg
(2,471,000缶)

横浜橋通商店街
ダンボール回収

'97.12
11,450kg

いま、トイレトペーパーの原料となる、牛乳パックが不足しています。牛乳パックの原料は丈夫で上質なパルプなので、再生紙の原料として引っ張りだこのです。

牛乳パックは、表側と内側についているポリエチレンのフィルムをはがしてから再生紙の原料として使います。以前、ポリエチレンフィルムは廃棄物として捨てられていましたが、今では特殊な炉で溶かしてガス化したものを燃料として使うようになりました。大がかりな設備が必要なことなので、燃料として使っているのは牛乳パックを主原料として使っている製紙メーカーに限られますが、リサイクルの現場で廃棄物を減らす努力が行われているのは、喜ばしいことです。

牛乳パック回収の際の問題点は、回収に出す人に、「洗って、開いて、乾かしてから、回収に出す」という手間を徹底する難しさです。洗って開いても、乾いていなかったためにカビてしまったら、製紙原料として使うことができません。黒いカビがついては、白い紙を作ることが難しいからです。

紙のリサイクル技術は進歩を続けています。内側にアルミが貼ってある酒などのパックが、再生できるようになり、これまでリサイクルできないとされてきた、ワープロの感熱紙やカーボン紙まで、リサイクルが可能になりつつあります。こうした特殊なパックや紙をリサイクルする時に問題となるのは、機械を移動させるために十分な量を集めなければならないこと。少量では採算が合いません。技術だけでなく、原料となる良質のパックや紙をどう集めるかが問題となってきています。

リサイクル
コンポイント講座

月刊 リサイクルデザイン
No.42 (Vol.5)

発行日 1998年2月15日

発行人 中野聰恭
編集人 宗村隆寛発行所
横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒220-0023
横浜市西区平沼1丁目33番1号
東洋建物横浜ビル5階
TEL & FAX 045・316・5122スタッフ
山岡秀明・武松昭男
杉山宜利・竹澤留美ライター
島秀子・高橋由紀
イラスト いとうみき
編集・制作 よしのたかこ

印刷 オリジナルプランニング

編集後記

◆新年会の帰り、家路に向かうバスの中、ほろ酔い気分の私は、財布の中に1万円札と小銭が70円しかないことに気が付きました。バス代は200円。
「運転手さん、万札両替できる？」
「お客さん、万札はだめですよ」「だけど、小銭が70円しかないんですけど」
「じゃあ、それだけでいいよ。残りは次に乗った時に払っていい」「すいませ〜ん（心の中でラッキー）」
あれから1か月、未だに残りは払っていません…。バス会社さんごめんなさい。(ぼん太)

バックナンバー差しあげます。
送料のみご負担ください。
お申し込みはお電話で。
☎045・316・5122 担当 竹澤

“リサイクルデザインClub”
会員募集

月刊リサイクルデザインは、市内の一部の区役所・地区センターで無料配布していますが、会員として定期購読して支えてくださる方も募集しています。ご希望の方は、1年分1,000円(郵送料相当)を郵便局の振替用紙を使ってお振込みください。

口座番号 00210-3-64725

加入者 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お届けは毎月20~23日。特にご指定がなければ、最新号からお送りします。
また、イベントなどについての情報を、別途お知らせします。

